

■(九条)藤原頼経	公家将軍。実朝暗殺で、幼時に将軍に迎えられたが、成長とともに反執権の核になり、追放された。
ふじわらのよりつね	太政大臣西園寺公経の女従一位准三后綸子を母に、左大臣(のち摂政関白)九条流藤原道家の三男に生まれる。寅の日の寅の刻に生れたので、幼名を三寅丸という。外祖母は源頼朝の姪。
・ ・ ・ ・ ・ 1218＝	3代将軍源実朝が殺され、源氏の正統が絶えたため、皇族将軍の下向を幕府が願い出たのに対し、幕府の弱
源実朝暗殺・1219＝	1歳： 13代将軍源実朝が殺され、源氏の正統が絶えたため、皇族将軍の下向を幕府が願い出たのに対し、幕府の弱
承久の乱・ ・ 1221＝	3歳： 承久の乱にもまったく関係していない。
親鸞真宗始・1224＝	6歳： 義時の死の直後、その後妻伊賀氏が起した事件では、あやうく伊賀氏の娘婿一条実雅に鎌倉殿の地位を奪わ
北条政子没・1225＝	7歳： 新造の宇津宮御所に移った三寅丸は、執権北条泰時を鳥帽子親として元服し、頼経と名乗った。
公家将軍始・1226＝	8歳： 将軍宣下があって正五位下、征夷大將軍(摂家将軍)兼右近衛少将に任じ、
道元曹洞宗始1227＝	9歳： 近江権介、
・ ・ ・ ・ ・ 1230＝	12歳： 従四位上。二代将軍源頼家の遺姫竹の御所鞠子と結婚。名実ともに四代将軍になった観があるが、まった
・ ・ ・ ・ ・ 1231＝	13歳： 右中将。正四位上。
御成敗式目・1232＝	14歳： 備後権守、従三位。
・ ・ ・ ・ ・ 1233＝	15歳： 権中納言。正三位。
金滅亡・ ・ ・ 1234＝	16歳： 按察使、従二位と官位も昇ったが、妻鞠子が死去したこともあって、幕政の実権はまったくなかった。
・ ・ ・ ・ ・ 1236＝	18歳： 正二位。民部卿と官位ともに累進し、
鎌倉大仏始・1238＝	20歳： 入洛して、左衛門督、檢非違使別当、権大納言に任じられたが、権大納言を辞している。在京の間、父道家
北条泰時没・1242＝	24歳： 長く鎌倉にとどまるうち、御家人とも親密となり、
九条頼嗣将軍1244＝	26歳： 鎌倉久遠寿皇院で出家。その直後から京都送還が問題になったが、前将軍の権威を募って動かず、大殿と
・ ・ ・ ・ ・ 1245＝	27歳： 頼経に迫って将軍職を子の頼嗣に譲らせた。
北条時頼執権1246＝	28歳： 鎌倉久遠寿皇院で出家。その直後から京都送還が問題になったが、前将軍の権威を募って動かず、大殿と
宝治合戦・ ・ 1247＝	29歳： 三浦泰村・光村兄弟らが頼経の鎌倉帰還を計って失敗し、滅ぼされた。
・ ・ ・ ・ ・ 1251＝	33歳： 足利泰氏が自由出家の廉で所領一処を没収されたり、三浦氏の残党らが追捕されたりした事件の背後には、
皇族将軍始・1252＝	34歳： 権力の回復を計った道家・頼経父子の陰謀があったらしい。
宋船制限・ ・ 1254＝	36歳： 道家が死ぬと、僧了行の幕府転覆の陰謀によって、五代将軍頼嗣も京都に追却され、
北条時頼出家1256＝	38歳： 没した。続いて頼嗣も死去。
	九条家3代が相次いで急死していることから、何事かがあったと推測される。